

平成二十四年、立宗七百五十三年の新春、あけましておめでとうございます。

御法主日如上人猊下、御隠尊日頭上人猊下におかせられましたは、益々御壮健にて新春を御迎え遊ばされ、慶賀至極に存じます。また、佐山講頭様をはじめ妙縁寺支部講員一同様も「実行前進の年」を清々しく迎えられましたこと、御同慶の至りであります。

昨年は、皆様方の赤誠の信心により、誓願目標を早々に成就致し、成功裡に越年する事ができました。

しかしながら世相を見るに、東日本大震災や原発事故、更には台風被害等、正に立正安国論に御指南の如く、乱れに乱れております。

この災禍にあたり、犠牲となられた方々のご冥福と被災された方々の復興と御健勝を心よりお祈り申し上げると共に、世の中の不幸や苦悩、またそれらの混迷の原因たる謗法の害毒の恐ろしさを感じ、いよいよ僧俗一致、異体同心して、まずは本年の目標である百二十名の折伏誓願達成を目指し、懸命なる精進を致すことこそ肝要であります。

大聖人様が『立正安国論』において、「汝早く信仰の寸心を改めて速やかに実乗の一善に帰せよ。然れば則ち三界は皆仏国なり、仏国其れ衰へんや。十方は悉く宝土なり、宝土何ぞ壊れんや。国に衰微無く土に破壊無くんば身は是安全にして、心は是禅定ならん。此の詞此の言信ずべく崇むべし。」（新編250）と仰せの如く、未曾有の時を迎えた今における折伏の意味は甚大であり、この時において大聖人様の仏法を行じる我々一人一人が与えられている使命の大きさを感じずにはられません。

されば妙縁寺支部御一同様には、かかる御金言を深く銘記し、佐山講頭様を中心に、広布に向い実行前進に挺身して益々の信心倍増を企図していただきたく存じます。

その点からも健康にはくれぐれも留意し、為法為宗に貢献すべく決意し、講中が揃っての力強い一步を踏み出してまいりましょう。

講員一同様の御健康と御多幸を衷心よりお祈りし、新年の辞と致します。